

眞に生くる途 (一) 吉田 松雄

「清貧と濁富」

若い者よと云ふに僕は老人の様に聞こゆるが、僕も近年若松歩兵第二十九聯隊より除隊した人間である。

ソロモンの榮華も百合の花の一つに如かないといふたキリメの言葉は、如何に人間に榮華を極めても結局は余りに價値のないものであることを喝破し盡してゐる。況んや濁富を積んで榮華に耽けるが如きは其の價値の全然零であることはいふまでもない。浄瑠璃本の太閤記十段目で光秀の母が「不義の富貴は浮べる雲の如き」と光秀に説き諭した言葉は千古の金言である。如何に現代の生活が金銀を必要とするといへ余りに現代人は金銀に執着し過ぎて居るではないでしやうか。

諸君はさうでもないが現代の人間は一にも金、二にも金、三にも金と癡言まで「金、金、金」といふ、亡者の様に餓鬼のやうに金を求めて居る。金と生命と天秤にかけて生命の方が軽く金の方が遙に重いのである。金のためなら生命を提出して平氣であるといふやうな氣持ちである。だから金のためなら男の節度も省ない。昨日の友は今日の敵とすることを恥とは考へない。諺に「鍋釜賣つても娼賣るな」といはれるその大切な女房をさへ金のためなら買るといふ程左様に金が第一義とやられて居る。

斯うした人間が金銀に對して執着を有つ様になつた原因は、替へられぬ「悲しき」。

つまり食はずにゐられない辛ばならん大切な女房を賣らねばならん余儀ない境遇の人もあつて、その人間個人の人徳なくして社會の罪も無縁である。作つてゐるのに氣付いて見ると一切合切、社會の罪なりとして済ましてはゐられない。

専門眼科醫師擔任

無料検眼券 御利用下さい

無料検眼

信用アリ正確味萬点ノ時計 御客様本位の眼鏡部

常盤屋時計店 電三三九

外務員募集

経験の有無を問はず

奮闘家を望む (年齢二十五歳以上)

詳細面談

平町宇部治町十八番地

千代田生命 互助會社 磐城代理店 内

木村 丈三郎

平新川町十九

木村病院

電話二六四

婦人科 院長 木村寅次郎

産科 女醫 木村コウ

内臓外科 醫學士 松永憲一

整形外科 醫學士 萩原駿二

藥局 東京藥學士 萩原駿二

耳鼻咽喉科 専門

平町仲田町七一

應入 合津醫院

電話五五九番

内科 小兒科 (入院應需)

花柳病科

藤沼醫院

平町紺屋町

電話平五〇七番

家傳 秘法 **腫物湯** のんで効く

はれ物の妙藥

主一●面疔●よう●乳の腫れ●指のはれ●淋巴腺の腫れ●二●耳鼻のおでき●骨膜炎●筋炎●はれ物手術の前後●効●等●よし

●特にかほのおでき、乳のはれは切らずに治り醜い痕を残さず美容上最適の治療劑なり

定價 五十錢 七十錢 一圓十錢 一圓五十錢

特約店

平町四丁目 小野藥店 四ツ倉町 荒川藥店

平町三丁目 宇佐美藥店 植田町 松本藥店

湯本町 岩瀬屋藥店 富岡町 莊野藥店

腫物湯 製劑所 茨城縣下孫 磯野醫院製劑部

學生外套特賣

酷寒・強雨にも耐く生地。型・仕立100パーセント黒ラシヤ外套の特價提供

中學用(極上) 8,500円

小學用(極上) 5,500円

全部頭巾付

なかや洋服店

平二 電203

外科 専門

花柳病科 専門

平町六丁目橋際

木村外科醫院

電話三〇九番

平町田町(電話五二三番)

高久病院

醫學士 高久 忠

新瀉醫學士 赤羽 菊

藥劑士 佐竹 菊

内科 小兒科 外科 花柳病科

耳鼻咽喉科 レントゲン科

雄清 忠

君はい、型の洋服を求められたね。眺だね? いや君コレは四丁目マルトモビル停車場で販賣中のソレ正札堂さ

ルビモトルマ目丁四 堂札正

度量衡計量器

吸入素

吸入器

關内藥局

電話四〇番